

農林水産企画部会での審議について

開催時期	主な審議内容		国の動き
R6.6.27	第1回総会	諮問、委嘱、部会設置 農林水産を取り巻く情勢 審議	R6.6.5 基本法改正
R6.8.27	第1回企画部会	現行ビジョン施策の実施状況報告・評価・検証 審議 (現ビジョン第2章相当／ 新ビジョン第2章)	
R6.10.24	第2回企画部会	具体的な課題、ビジョン見直しの方向性 審議 (現ビジョン第3～4章相当／ 新ビジョン第2章)	
R6.10.9～11.8	アンケート	現状、10年後を見据え特に推進すべきと思う施策	
R6.11.12、 11.13、11.22	現地調査	現地視察、意見交換	
R6.11.28	第3回企画部会	アンケート、現地調査結果報告 新ビジョンのめざす姿、施策体系 審議 (現ビジョン5章相当／ 新ビジョン第3章)	
R7.1.30	第2回総会	新ビジョン骨格決定	
R7.6.20	第4回企画部会	施策展開・指標 審議 (現ビジョン6章相当／ 新ビジョン第4章)	R7.4.11に 基本計画策定
R7.8.12	第5回企画部会	各指標の目標数値や第4回企画部会の修正意見などを反映した 答申素案審議	
R7.10.27	第3回総会	答申素案審議（全体）	
R7.11月上旬	パブリックコメント	パブリックコメントを募集	
R7.12.11	第4回総会	答申案決定	
R8.1	答申	答申	

企画部会で審議した内容

(1) 【資料 3 P20～25】

第 3 章「農林水産ビジョン2035のめざす姿」における
「2035年の展望」

(2) 【資料 3 P30～32】

第 4 章「めざす姿を実現するための施策展開」における
総括的指標、成果指標

(3) 【資料 3 P33～71】

第 4 章「めざす姿を実現するための施策展開」

企画部会で出された主な意見

【基本方向1 収益性の高い農林水産業の実現】

(1) 農業

- ・農地の集積・集約、地域計画の広域化など、未来を見据えた取組が重要
- ・加工用野菜の産地づくりが必要
- ・総括的指標である生産農業所得などの収益性を高める視点が重要
- ・ため池の水門など老朽化している施設の修繕が必要

(2) 畜産業

- ・消費者までおいしさ指標を理解してもらえる仕掛けづくりが必要

(3) 林業

- ・作業地の確保に繋がる地籍調査など、林業経営をやりやすい体制づくりが重要
- ・再造林に対する寄付などの山を育てる仕掛けや非建築分野に関する施策が必要

(4) 水産業

- ・食物連鎖や資源状況を意識した放流、ワカメやノリの品種開発、コスト低減が重要
- ・海域環境のモニタリングや漁業就業者の確保、環境改善に向けた二枚貝の放流が重要

(5) ブランド化

- ・兵庫県ブランド全体を強くアピールできるマーケティング方法が重要
- ・鶏卵など海外で順調な品目の輸出をさらに伸ばすことが重要

【基本方向2 にぎわいのある農山漁村の創出】

- ・法人などの大規模経営体と副業的経営体や準主業経営体など多様な農家が協力しあい、地域全体の農地を守ることが重要
- ・農業経営体と地域住民が総合的に良い関係を築けている農村の形を示すことが必要

【基本方向3 県民とともに育む豊かな食と「農」の充実】

- ・オープンファームやC S Aなどに消費者の関心を引き出す手法が重要
- ・単発で行う農業体験ではなく、栽培から実食まで体験するような長期的かつ一貫した食農教育が重要